

このスポット・おすすめ!

ボリュームも栄養も満点の
自家製プリトラーを食べに行こう
NUKUMI KITCHEN



**移動販売で実績を重ね
多くのリピーターを獲得**
読谷村高志保にあるGALA青い海のテナントスペースに、新しいお店が続々と誕生中。7月下旬には、今までフードトラックで活動していたプリトラー専門店「NUKUMI KITCHEN」がオープンしました。プリトラーとは、小麦粉で作った生地に入れた具材を巻いた、タコスとよく似たメキシコの名物料理。これがアメリカ南部では、具材に米を加えてボリュームを増したタイプが主流になり、同店もその流れを汲んだテコス・メクス料理(メキシコ)風のアメリカ料理を提供しています。もともと県内リゾートホテルで洋食シェフとして働いていたオーナーの今野邦彦さんは、3年前にフリートラックを購入してプリトラーの移動販売を開始。各地のイベントを回って出店する他、基地内では「故郷の味」を求める外国人リピーターを数多く獲得してきました。プリトラーのメニューは全5種類。具材には共通してチーズ、レタス、パプリカ、豆類が入り、これにメニューごとに牛肉、グリルチキン、フカモリなどが加わります。安心安全を心がけ、調味料からすべて手作りのプリトラーは、ボリュームだけでなく栄養も満点。メニューと生地で巻いた一般的なプリトラーの他、タコライスのように器に具材を盛りつけた「ボウルタイプ」も好評です。「おいしいプリトラーをぜひ一度食べに来て下さい」とは、かみながら話す今野さんは、店内に専用のDJブースを設けるほど大の音楽好き。今後は毎月一回のペースでクラブイベントを企画して開催予定です。

住所：読谷村高志保 915
電話：098-989-3556
時間：11:00～20:00 (L.O.19:30)
休み：水曜日
駐車：あり (GALA 青い海共用)



【おもなメニュー】
*プリトラー(2個)orボウル
ミックス……………1,100円
ビーフステーキ……………1,000円
グリルチキン……………900円
シュリンプ&アボカド……………950円
ベジ……………900円
※具材はオプションで追加可能



読者 答えて

プレゼント

このスポット・おすすめコーナーで紹介の『NUKUMI KITCHEN』で使える



3名様

「プレゼント」を言い換えること!
Q さまざまな話すことがとても好きな道具は何?
A 答えがこちらにあるよ

8月号当選者 前号の答え(テニス)

- ★照屋 リエさん(読谷村在住)
- ★渡嘉敷 陽子さん(北谷町在住)
- ★玉城 凜花さん(沖縄市在住)

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先 読谷村字伊良皆237-1 ワインズ『広報誌係』

①住所 ②氏名
③年齢 ④職業
⑤電話番号

⑥ さまざまな答え

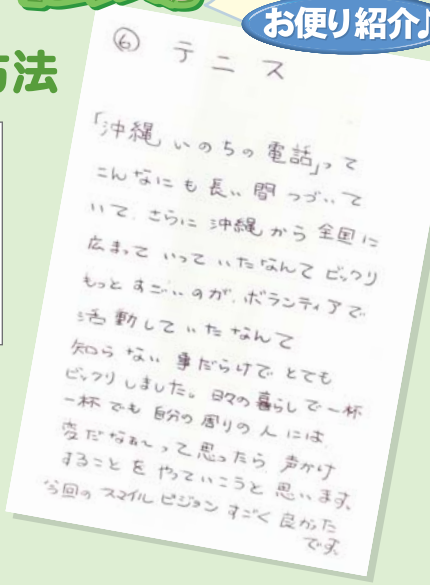
裏 ⑦ 意見
感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り 2019年9月20日消印有効

「当選者は次号(Vol.181)にて発表致します」

『Freshウインズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウインズ広報誌係)



Fresh ウインズ

人と人とのつながりを大切に...池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌



↑那覇市 読谷村 嘉手納町 名嘉病院 比嘉川 エネオス ワインズ au 読谷高校 ファマリート おきなわ 養蜂所 道の駅 読谷 名護市

(株)池原建設 企画事業部ウインズ
〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良皆 237-1
営業時間 / 9:00～18:00 (年末年始を除く)

住宅のメンテナンスや
補修等のご相談は、お気軽に
スタッフへお声掛け下さい!

☎0120-229-512 ウインズ 池原建設 検索

今月の歳時記

- 9月6日(金)～8日(日) **第6回 感動のまち うるうる うるま市物産展**
会場・開催地/沖縄市・イオンモール沖縄ライカム2階 アースコート
- 9月14日(土)・15日(日) **中秋の宴**
会場・開催地/那覇市・首里城公園
- 9月22日(日) **くるちの杜100年プロジェクトin読谷2019**
会場・開催地/座喜味城跡公園内くるちの杜、読谷村文化センターふれあい広場
- 9月28日(土)・29日(日) **第42回宜野湾はごろも祭り**
会場・開催地/宜野湾海浜公園多目的広場

ラグビーワールドカップ2019日本大会が、いよいよ今月20日に始まります。日本代表は開幕初日に、読谷村で直線にキャンプを行ったアメリカ代表チームは26日に、それぞれ初戦を迎えます。今年の9月は3連休が2回。14日(土)から16日(月・敬老の日)、21日(土)から23日(月・秋分の日)と2週続けて月曜日が祝日に重なります。





～スマイルビジョン～

Smile Vision!

日頃支えてくれている家族に感謝を込めて、社員手作りのおもてなし 第4回「IKEHARAファミリーナイト」開催



■4回目の「IKEHARA ファミリーナイト」も天気に恵まれ、無事に屋外で開催。毎日過ごしている建設事業部前の中庭が、この日の夜だけはにぎやかな夏祭り会場に。テーブルやテントのセッティングも、会場の飾り付けも、社員で手分けして行いました

私たち池原建設は7月27日、社員とそこにご家族を対象にした社内イベント「IKEHARAファミリーナイト」を読谷村座喜味の弊社建設事業部パティオ(中庭)で開催しました。会場の設営から料理の手配、当日の進行まで、社員全員で役割を分担すると同時に、私たち自身もゲスト気分分で会を満喫。ご家族が楽しんでる姿、喜んでる顔は何よりの原動力となり、ちょうど7月から始まった第37期の新事業年度も、社員一丸となって最大のパフォーマンスを発揮できそうです。

子どもたちの弾ける笑顔に アットホーム感が高まる

「IKEHARAファミリーナイト」の開催は今年で4回目。もともとは代表の池原多加氏が「社員が仕事に専念できるのはご家族の理解とサポートがあつてこそ。職場の雰囲気や仕事内容を身近に知ってもらうとともに、日頃の感謝の気持ちを伝えたい」との目標と方向性を確認し合ったばかり。一年後、お客様には今まで以上に最高のパフォーマンスで期待に応えられるように、そしてご家族の皆様には「ファミリーナイト」でさらに成長した姿を見せられるように、社員一丸となって頑張っていきたいと思えます。



この思いから企画・ストーリーとした手作りのイベントです。回を重ねるごとに内容も段取りも徐々にブラッシュアップされ、今では自社で開催している「年間4大イベント」の一つとしてすっかり定着しました。

今年の参加者は例年以上に子どもたちの割合が高く、それを見守る大人たちの間に自然と笑顔の輪が広がって、会場全体がアットホームな雰囲気。初対面の子も同士もすぐに打ち解けて一緒に遊んだり、進んでダンスのパフォーマンスを披露したり、にぎやかな宴が一段と明るく弾んだムードになりました。

洋食中心の料理も大好評。基本的にはビュッフェ形式でしたが、まずは「おもてなし」の心を込めて、最初のワンプレートだけは各テーブルに一人ずつ料理を盛って準備しました。また「司会や発表者の声が会場全体に届きにくい」との昨年までの反省を生かし、今年は舞台を会場中央に置き、音響も工夫するなど、一体感が高まるように細かく配慮しました。

スタッフボイス

総務部 雨瀬 美和

料理をはじめ余興や備品など、あらゆるモノを手配するのが私の役割。今年とはとにかく何から何までスムーズに運び、社員全員が自発的にフォローし合える関係が一段と深まったと実感しました。また他のご家族にこうして会えるのは基本的に一年に一回ですから、特にお子さまの成長を見られることも大きな楽しみの一つになっています。

総務部 今居 久美子

私にとつては入社して2回目の「ファミリーナイト」。当日はおもてなし係として全体のサポート役に回りました。昨年と比べて料理やドリンクの準備も、プレゼン大会などのプログラムもすべて段取りよく進めることができ、余裕を持って楽しむながら役割をこなすことができました。

企画事業部 長浜 円

家族の皆さんが楽しんでる姿を想像しながら会場を飾り付け。明るくポップにまとめた昨年とは趣を変え、今年はシックな大人の雰囲気



■おいしい料理で家族をおもてなし。料理は毎年少しずつ趣向を変え、大人から子どもまで今年も大好評でした

それが臨機応変に役割を果たしながらも余裕を持って宴を楽しむことができ、「他のご家族との距離がとて縮まった」と達成感もひとしおでした。



■全員が見守る温かなムードの中、社員とそこにご家族を一組ずつ紹介。司会役のウイットに富んだ紹介コメントに会場は笑いの渦に包まれました

自然と協力し合える関係は 巡り巡って 仕事にも生きてくる

運営面でも今年最も大きく変わった点は、すべて社員の自主性に委ねられたこと。4月半ばの計画段階から、代表の池原に指示を仰いだり、役員意向をくんだりすることが一切なくなり、文字通りに社員の「100%手作り」によるイベントになりました。料理手配、飾り付け、会場設営など、それぞれの役割ごとにグループ分けして準備を進

め、各班のリーダーが定期的に集まって協議を行う他、日頃からコミュニケーションを取り合い全員で全体の状況を確認。そうした一つ一つの積み重ねが当日のスムーズな進行につながり、翌日には自発的に反省会を開いて、早くも来年に向けた改善点や新しいアイデアなどを話し合いました。そして「池原建設イベント部」を新設したらどうか」との冗談が飛び出すくらい、現在は社内の連携体制が充実していると感じています。

私たち池原建設は建築会社です。今回の「ファミリーナイト」のように、一見すると会社の事業と直接関わりのない取り組みであっても、「今後必ず仕事やすべてのことに生きてくる」と確信しています。企業の流れにはいい時もある、悪いときもありますが、いついかなる状況であつても、お客様の要望にベストの回答を提供することが企業の使命です。その点で現在の池原建設は、いつ、どんな場面でもベストの対応ができる理想的なチーム体制に近づきつつあり、ベテラン社員はもちろん若手の一人一人にまでその自覚と自負が広がっています。

折しも7月6日には経営方針発表会を開催し、今期37期



家族の笑顔が一番の仕事のモチベーション。来年も成長した姿を見せられるように頑張ります！